

笑顔あふれる まちづくりをめざして

飯南町は、島根県の中南部に位置し、1,000メートル級の山々に囲まれた美しい里山と、源流の清らかな水に彩られた「生命地域」です。西日本では有数の豪雪地帯で、四季の移り変わりを強く感じることができます。

平成の大合併で誕生した飯南町も早や16歳(令和3年1月現在)となり、あっという間に高校生になりましたが、その分年月も過ぎたため、高齢化率も45%と高くなりました。人口は、自然動態では減少していますが、社会動態では微増傾向にあり、毎年人口の1%となる40から50人がUターンをして、飯南町に住みはじめてきています。これまで、まちの最重要課題として取り組んできた定住施策の成果と言えます。

都会から田舎に移住する際に読まれる「田舎暮らしの

本」では、全国240のまちがエントリーした「町の部」の、住みたい田舎ベストランキングで、飯南町は「若者世代が住みたい田舎部門」と「子育て世代が住みたい田舎部門」、「総合部門」で、第1位の3冠を獲得しました。

どうしたら移住する人にとって「住みたいまち」になれるのか、また、移住後に「住んで良かった」、「住み続けたい」と思ってもらえるのか、常にこうした視点でさまざまな施策を考えています。

自分のやりたいことが実現でき、あなたに合う生活スタイルが、飯南町にはあるはずですよ。

日本の原風景が残り、癒しの空間でゆったりと過ごすことができるまち、飯南町へぜひお越しください。やさしい人、豊かな自然、美味しい食でおもてないたします。

飯南町長 塚原 隆昭

Takaaki Tsukahara



自然と沿革

飯南町は島根県中南部にあり、広島県との県境、中国山地の脊梁部に位置しています。1,000メートル前後の琴引山や大万木山などに囲まれ、平坦地の標高が約450メートルある県下でも代表的な高原地帯です。また、まちの中心にある琴引山は、出雲国風

土記にその名をとどめ、悠久の歴史をうかがい知ることができます。また、出雲・石見・備後の三国にまたがっていたため、山陰・山陽を結ぶ中国山地の要衝として古くから開発され、たたら製鉄や良質な米の産地としても知られていました。

まちのシンボル



【町章】

飯南町の頭文字である「い」(人間)をモチーフに、赤来と頓原のまちがしっかりと腕を組み、和と団結を図るとともに、自然と人間味のあふれるみずみずしい「いのち彩る里」を作っていくとする姿勢を表しています。



【町の木：ブナ】

大万木山や女亀山(めんがめやま)などに見られる県下有数のブナ林。四季折々の美しい表情を見せてくれるブナが、大空に向かって雄々しく逞しく伸びゆく姿はまちの未来を表しています。



【町の花：ぼたん】

澄みわたる空に向かって、豊かな大輪の花を咲かせるぼたん。家庭でも育てやすい親しみやすい花で、高原ならではの色映えも美しく、まちの内外でも多くの愛好家が育てています。

まちへのアクセス



おすすめ

- 車でお越しの方
 - 【広島方面から】中国自動車道三次IC-国道54号へ入り松江方面へ約30分
 - 【松江方面から】松江自動車道吉田掛合IC-国道54号へ入り広島方面へ約30分
- 電車・バスでお越しの方
 - ・JR三次駅(広島県)-バスで約50分
 - ・JR松江駅-たたらば舌番地まで高速バスで約1時間、たたらば舌番地からバスで約1時間
 - ・JR出雲市駅-たたらば舌番地まで高速バスで約45分、たたらば舌番地からバスで約1時間
- 飛行機でお越しの方
 - ・出雲空港-JR出雲市駅まで空港連絡バスで約25分、JR出雲市駅-たたらば舌番地まで高速バスで約45分、たたらば舌番地からバスで約1時間